

電気なら安全？ 増加する家庭電気火災

一般向け/約18分



<企画意図>

住宅火災の発生原因としていま増加しているのが、電気や電気製品による火災です。電気ストーブや電子レンジ、それにプラグやコンセント。身近な家庭電気製品や電気器具が、ちょっとした不注意で火災になることは少なくありません。電気は手軽で安全に思えますが、誤った使い方をすると危険です。

本作品は、増加する火災原因とされる電気ストーブ、電子レンジなどの電気製品や配線器具などを個別に取り上げ、火災事例、火災実験の映像などでその危険性を解説し、火災を起こさない環境や習慣をどのように心がければよいのかを考える内容となっています。高齢者の両親の家に娘と孫が訪ねるドラマ仕立てになっており、火災から自分の家を守るためにはどうしたらよいのかを探ります。

早く知る 早く消す 台所火災に気をつけよう

一般向け/約18分



<企画意図>

季節を問わず起きる住宅火災。その出火原因の上位に挙げられるのが、台所のコンロです。調理中の火の消し忘れや、火に近づきすぎて衣服に着火するなど、日頃から慣れているから大丈夫という、ちょっとした油断が大きな事故につながるのが台所火災です。さらに最近事故が多いのが、IHコンロ（電磁調理器）や電子レンジからの出火です。電気器具も、間違った使い方をするととても危険なのです。

本作品では、天ぷら油による調理など、ガスコンロやIHコンロを実際に使った家庭の日常で起こる台所火災の危険性を、事例や実験映像を通して解説します。そして、台所から火を出さないためには、日頃からのような備えや心がけが大切なのかを学ぶ内容となっています。

一般向け
約 18 分**電気なら安全？
増加する家庭電気火災****■増える電気火災、電気ストーブの危険性**

住宅火災の原因を探ると「たばこ」の次が「ストーブ」となっており、石油ストーブよりも電気ストーブなどによる出火が多いことがわかる。電気ストーブの火災で多いのが、スイッチを入れたまま寝てしまい、布団がストーブに接触して燃えてしまうというケースである。

また、ストーブの上に洗濯物を干すなど、周囲に燃えやすいものを置くことも大変危険である。

■電気こたつなどの暖房器具の危険性

冬場に洗濯物をコタツの中に入れて、乾かそうとしていないだろうか？洗濯物がヒーターに触れた場合どうなるのか、その危険性を再現実験で示す。

また、電源コードが家具の下敷きになるなどして断線すると、ショートして発火する危険がある。コードが断線していないかを確認しよう。

■電子レンジの火災事故

電子レンジの中が調理くずや油で汚れたまま使用すると、使用中に汚れが炭化し発火することがある。汚れたと思ったらこまめに掃除することが事故防止の観点でも重要である。

■タコ足配線や配線器具の危険性

配線器具の危険な使い方は、「タコ足配線などで許容量を超えた電気器具を使用する」「テーブルタップや延長コードを束ねた状態で使用する」「コンセントと電源プラグを埃だらけにしておく」などがある。その理由と対策を解説する。

■古い家電製品への注意

家電製品は長い期間使用していると、内部の部品が劣化して発煙や発火を引き起こすおそれがある。古い家電製品は、使う前に必ず専門家に点検をしてもらおう。

■日頃から安全を心がけ注意すること

電気は便利で使いやすいが、間違った使い方をするととても危険だ。火災を起こさないためには、電気製品を過信せず、日頃から正しい使い方を習慣化することが大切である。

ライブラリー価格 本体 **¥65,000**+税一般向け
約 18 分**早く知る 早く消す
台所火災に気をつけよう****■台所に潜む危険、ガスコンロによる火災の発生**

建物火災の出火原因の1位は、調理中に放置したり火を消し忘れていたりすることによって起きるコンロ火災だ。

食用油は短時間で高温になるため、調理中に放置すると自然発火する危険性が高い。台所から離れる場合には、必ずコンロのスイッチを切ることだ。また、安全装置などがついているコンロに買い換えることも、対策として有効である。

■衣類などへの火の燃え移り(着衣着火)に注意

ガスコンロの炎が衣服に燃え移ってしまう「着衣着火」による死亡事故が増加しており、その多くが65歳以上の高齢者である。

未然に防ぐための対策や火がついてしまったときの対処法を紹介する。

■IHコンロや電子レンジの火災の危険性

IHコンロ(電磁調理器)は引火の心配がなく高齢者にも人気だが、火災が起きる可能性はゼロではない。実験を通してその危険性を示し、ガスコンロと仕組みが異なることを理解し、説明書をよく読み正しく使用することが肝要だと訴える。

また、電子レンジは汚れたまま使用すると汚れが炭化し発火することがあるので注意が必要である。こまめに掃除することを心がけよう。

■台所火災の備え

これまで紹介した出火原因のほか、「伝導過熱火災」(コンロの熱が壁の向こう側にある木材などの燃えやすい素材に伝わって発火する火災)にも要注意。コンロと壁が近づき過ぎないように距離を置き、コンロの周りは整理整頓を心がけよう。

日常生活の中で火災を起こさないためにも、毎日調理を行う台所では、特に防火意識を強く持つことが大事である。

ライブラリー価格 本体 **¥65,000**+税

監修 東京大学名誉教授 工学博士 菅原 進一

指導 元横須賀市消防局 消防救急課長 小澤 光男

企画・制作統括 高木 裕己 脚本・演出 菊地 金義

制作・著作/株式会社 映学社

■DVD【カラー】 ※字幕版も収録されております

■2020年・映学社作品


株式会社 映学社
EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL:03-3359-9729(代表) FAX:03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>

●お問い合わせ、お買い上げは……